

## アンビューに関して

アンビューは、呼吸の苦しそうなときや声が出にくいとき、呼吸器に異常があった時に使います。呼吸器より勢いよく空気を送り込めるので、カフアシストの役割も担っています。

空気を入れる圧に関しては、メモリの緑と黄色の境目まで針が降れるように空気を入れてください。



## アンビューの使い方

1、まずクリップを外す





**2、人工鼻の呼吸器側からホースを抜き、アンビューを取り付ける**

この時、呼吸器に人工肺を設置すると、人工肺が膨らむので梶山さんの普段の呼吸のタイミングがわかりやすい。人工肺のタイミングに合わせて空気を送るとタイミングがとりやすい。



**3、タイミングに合わせて緑と黄色の境目まで針が振れるように空気を入れる。**

**4、梶山さんから OK がでたらアンビューを外し、呼吸器を取り付ける**

**5、アンビューを使った後は必ず吸引をする**

## 気管カニューレ内の吸引方法

### 1、気切部分の右側にタオルを置く



### 2、アルコールで手指を消毒する。



### 3、利き手に手袋をする

### 4、ピンクの袋のアルコール綿で吸引用カテーテルを拭く 1回の吸引で袋の半分のアルコール綿を使う

### 5、車いす左にある水筒に入っているカテーテルと

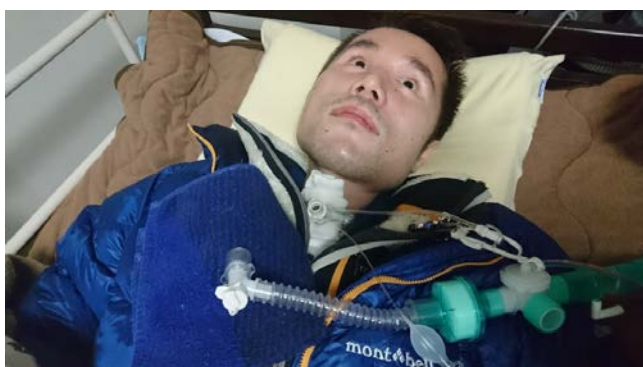
**吸引器の連結管をキャップを外してつなげる**



**6、吸引機の電源を入れる**

**7、呼吸器を梶山さんの「はい」というタイミングで外す**

**8、陰圧をかけながらカテーテルを気管に挿入する  
外した呼吸器はタオルの上に置いておく**



**※梶山さんが痰のある場所を言ってくれます**

**上→手前に浅く 下→奥 と、梶山さんから見た方向で痰のある場所を伝えます**

9、「はい」と言われたら、吸引終わり **すぐに呼吸器をつける**

10、 先ほどのアルコール綿でカテーテルを拭き、右側の水筒の水を吸う

11、 カテーテルをもとの場所(左側の水筒)に戻す

12、 サイドチューブを連結管で吸引する



13、 吸引したら連結管をアルコール綿で拭き、水筒の水を吸う(吸引の時と同じ)

## 車いすに座った時の呼吸器ホースの設置方法



呼吸器のホースで輪っかを作り、車いすの左側にかけてから赤いマジックテープで固定する。



気切部分から垂直に呼吸器をつけたほうが声は出やすい



呼吸弁（白い部分）についている緑のキャップのようなものが下を向くように取り付ける。  
この時ねじったまま設置すると気切部分に負荷がかかるので、位置を決めたら片方を抜いてねじれを解消するほうが良い。





最後に呼吸器についているネクタイピンのものを服に挟んで位置を固定する



車いすに乗った時



腰のベルトをする際は、タオルを8つ折り程度にたたみ、両側の腰に置く



腰ベルトはしっかりと閉める



お腹の前に専用のクッションを設置する。  
腕を上げてクッションを入れたら腕を組むような感じでクッションの上に置く。





車いすの後ろで差し込みバックルをカチッと止める



マイクのスピーカー

ボリュームを上げると ON になる

電池は単三 4 本を使用

(エネルギーを使用している所以就寝時に充電してください)



マイクは口元に



マイクの栓は首の後ろを通す  
首は持ち上げず、空いたスペースに差し込むように